



赤田 克一さん
(栄町)

Ｊリーグ百年構想を
存じますか？「オラが町
のオラがサッカーチーム
創設を最終目的としたも
のではなく、我々全ての
人がスポーツを通して世
代を超えた触れ合いの輪
を広げることをスローガ
ンにした構想です。

この考えには緑の芝生
におおわれたスポーツ施
設をつくり、サッカーに
限らずやりたい競技を楽
しめるスポーツクラブを
つくることを含みます。

つまり地域密着のクラ
ブチームに私たちが参加
することが様々な競技を
様々な世代、人たちと交
流することを可能にし、
誰もがスポーツライフを
楽しむことができるとい

うことです。決してオラ
がチームがＪリーグに昇
格することがすべてでは
ないのです。

御代田町には芝生がは
られた公園、広場も多く、
B&G海洋センターには
天然芝でサッカーをプ
レイできるグラウンドも
あります。

近くには野球場、テニ
スコート、体育館や屋内
プールも併設されていま
す。施設面でこれ以上何
を望むのでしょうか？

良いクラブチームには
インフラ面だけでなくソ
フト面、つまり指導する
人材や参加するメンバー
の充実も可能にする相乗
効果が期待できます。良
いクラブには良いスタッ
フと良い選手が集まるの
です。

人口一万五千の小さな
地域でもスポーツクラブ
の運営は可能です。
今こそクラブ創設を強
く望まざるにはいられませ
ん。



11月15日は「七五三」で
ある。

地域によって違いはある
が、江戸時代から、邪気を
払い、延命を祈る五節句の
元旦（一月一日）・上巳
（三月三日）・端午（五月五
日）・七夕（七月七日）・重
陽（九月九日）の内、子ど
もの成長・発達と関係のあ
る三節句を祝う風習であ
る。

三歳は「髪結いの祝い」
で、女子を祝う桃の節句、
ひな祭りである。

五歳は「袴着の祝い」
で、男の子を祝う菖蒲の節
句、五月人形の祭りである。

七歳は「帯締めの祝い」
で、女兒の裁縫の上達と、
勇気ある男児の成長を願う

笹の七夕祭りである。

満年齢では二・四・六歳
で、身辺処理能力面ではそ
れぞれ一人で、不十分なが
ら摂食が可能になる二歳、
排泄が訴えられる四歳、着
衣で寒暖の調節が自立する
六歳である。

こうした先人の積み重ね
られた貴重な経験から生ま
れた習慣や基準も、いつの
間にか商業ベースに乗せら
れ「貸衣装と写真屋、お菓
子屋デー」になって、本来
の意味が薄れてきている。

少子化の中で、子育て支
援の充実が強く求められて
いるが、家庭や地域で、こ
うした行事を通してその絆
をさらに強めていきたいも
のです。 東口 重信

